

神戸新聞読者クラブ

奥さま手帳

毎月、兵庫を再発見。

2024年
5月号
NO.610

初夏の庭めぐり。

実りのジャム。



どの角度も美しい、立体的花園 荒牧バラ公園

伊丹市

天神川の堤防を生かした高低差のある立体的な公園。初夏は約250種1万本のバラが咲き誇り、アンティークなレンガ積みの花壇、列柱、スパニッシュ瓦と白壁の建物など南欧風のテラス式庭園を優雅に彩る。注目は「ふるさとのバラコーナー」に咲く、日本が誇るバラの育種家・寺西菊雄氏が生んだ伊丹生まれの品種〈天津乙女〉や〈マダム・ヴィオレ〉。姉妹都市のベルギー・ハッセルト市から寄贈された貴重なバラも。見ごろは5〜6月と10〜11月。

▶伊丹市荒牧6-5 ☎072-772-7696(みどりのプラザ) 見ごろ/5月中旬〜6月中旬、10月中旬〜11月中旬 午前9時〜午後5時(5/15〜6/30は火曜以外は午後6時まで) 入園無料 火曜(祝日の場合翌日)休、5・6・10・11月は無休 ◎あり(有料) 道案内/電車→阪急宝塚線山本駅から南へ徒歩約23分 車→中国自動車道宝塚ICから東へ約10分

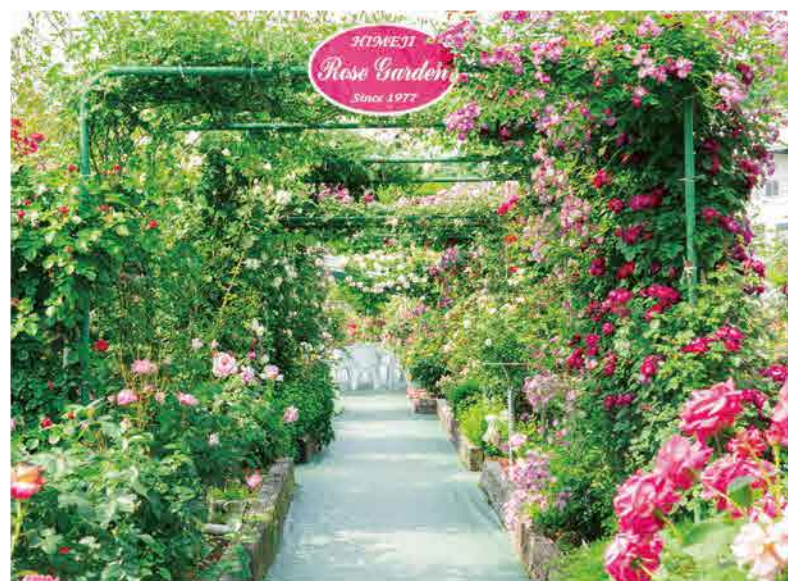


高低差約10m、約1.7ヘクタールの園内がバラであふれる。階段を上り下りして巡り、いい運動に。



イタリア式の幾何学模様
に区切られた庭園に、南欧
スタイルの白壁の壁や建
物。絵になる美しさ。

つるバラがたわわに花を付けるアーチをくぐり、お気に入りの1輪、眺めを探して園内へ。花や花びらの大きさ、形、立ち姿、詩的な名前、甘く優しい香りも楽しんで。土日曜は大勢が訪れるので、ゆっくり鑑賞するなら平日がおすすめ。



1977(昭和52)年、上野昭子さんが亡き夫の修さんと開いた私設の花園。現在は娘さんも一緒に日々バラを丹精し、見ごろを迎える春と秋のみ開園する。花が咲き乱れる約2,200㎡の欧風庭園には、絵になるオブジェ、庭小屋、何度も歩きたくなる小道やアーチ、テーブルやベンチを各所に。驚くのは季節ごとに園内のデザインが変わり、何度訪ねても違った表情が楽しめること。バラ尽くしのカフェ、雑貨店も併設する。この春は5月10日(金)〜6月9日(日)に開園。

▶姫路市豊富町豊富2222 ☎079-264-4044
開園/5月中旬〜6月中旬の午前9時30分〜午後4時(土・日曜、祝日は午後4時30分まで)、10月中旬〜11月中旬の午前10時〜午後3時30分(土・日曜、祝日は午後4時まで) ※最終入園は各30分前 入園料/大人600円、小学生300円 開園期間は無休 ◎あり 道案内/電車→JR播但線仁豊野駅から北へ徒歩約13分 車→播但連絡道路豊富ICから北へ約6分

野生種のワイルドローズ、長い歴史を持つオールドローズ、多彩な花形や色が生み出されたモダンローズ、イングリッシュローズ、フレンチローズなど。世界バラ会議殿堂入りの貴重な品種も。



愛情と幸せあふれる私設バラ園

姫路ばら園

姫路市

初夏の
庭めぐり

撮影/エフエントタカ 坂上正治 竹田俊吾
南平泰秀 本郷達三 前田博史
取材文/伊藤順子 野上知子 井鍋横 牧野しのぶ

5・6月が
見ごろ

ばらの花園へ。

緑が日に日に鮮やかさを増す5月は毎日がお出かけ日和。ハイキング気分ですてきなお庭へ出かけませんか。まずは1輪1輪が満面の笑顔のように咲き誇るバラ園へ。たくさんの植物が4・5月に花を付ける中でも、華やかさと気品に満ちたバラには特別な存在感がある。世界中で愛され品種改良が重ねられて、4万以上の品種があるといい、花の色、形、開花期もさまざまだが、冬の休眠期に蓄えたエネルギーを発散するようにのびのび咲く春バラの麗しさは格別。姫路・市川沿いの庭園で国内外750種3,300株を育てる[姫路ばら園]でも、一面がバラで埋め尽くされる中、つるバラが華やかに群生するアーチをくぐったり、花びらの重なり、繊細な色あい、香りを間近に楽しんだり。「花を眺めて喜ぶ皆さんの顔を見るのが何よりうれしくて。毎年心をこめてバラを育てています」と笑顔で迎える園主の上野昭子さん、娘の佳子さん。清らかで力強い美しさに感激し、この絶景をどれだけ細やかな人の手と愛情がつくり上げたかを思って、また感動する。心おもむくままに巡り、バラ色のひとときを。



カフェでは花びらの砂糖漬けをたっぷりのせたばらのトースト880円(飲み物付き)を、冷たいばらティーや、ジャム付きのばらの紅茶450円と、園オリジナルのばらシャーベット、アイスクリーム、ゼリーは各450円。食器やコースターまで花盛り! モーニングやランチセットもある。

岡本太郎氏の直筆の石碑



開花状況や見ごろは毎年変わるので、「電話の問い合わせもお受けします」と上野さん。



アルファメイトと巡ろう

庭園の見どころや魅力を詳しくガイドしてくれるボランティアスタッフ。赤いジャンパーとキャップが目印。気軽に声をかけてみて。
土・日曜、祝日の午前10時30分～午後4時 8月・12・2月は休止



〈園芸療法ガーデン〉は五感を使って植物を感じるエリア。ラムズイヤーのフワフワとした手触りや爽やかな香りのレモンタイムなど、目で楽しむだけでなく、触覚や嗅覚などをフル活用して植物の個性を観察したくなる。



校内の学食[風の詩(うた)]は一般の人でも利用できる眺望抜群なカフェ。人気は栄養バランスのいい日替わり定食800円やケーキセット700円(コーヒーか紅茶付き)。テラス席で雄大な景色も一緒に楽しんで。ワンちゃん連れも歓迎。



淡路島の園芸学校が楽しい！

園内はシンボルツリーのセンペルセコイアをはじめ、1,000種類を超える季節の花や樹木に彩られた緑の楽園。5月頃は雪のような白い小花が美しいヒツパタゴをはじめ、オオデマリやアヤメなどさまざまな花が一斉に開花を迎え、園内がいっそう華やかに！



庭づくりの参考に！



「美しい庭づくりのポイントは先にデザインを考えること。やみくもに植えると、バランスの悪い庭になってしまうことも」と藤田さん。数種類の花を植える場合は花の色合いや背丈をイメージしながら配置を工夫すると、統一感が生まれ、おしゃれな庭の印象になる。

心温まる 手づくりの庭へ。

淡路島にある庭づくり専門の園芸学校が広大な庭を一般開放。多可町では個人宅のお庭を公開するオープンガーデンも開催中。ガーデニングを楽しむヒントが見つかるはず。



多様な植物に彩られた
園芸学校の庭園へ

兵庫県立淡路景観園芸学校 アルファガーデン

Alpha Garden

淡路市

自然と調和したまちづくりの専門家を育成する学校が、キャンパス内の庭園を一般開放。学生たちの実習の場でもある園内は、四季折々の花木をはじめ、日本庭園やロックガーデン、五感で植物を感じる〈園芸療法ガーデン〉などもあり、多種多様な植物の美しさやそれらを生かした庭づくりが楽しめる。「植物の成長や時代のニーズに合わせて変化する自然の景観美を見ていただければ」と職員の藤田楓加さん。高台にあるカフェからは淡路島の山並みや海も一望でき、心地よさと開放感もこの上ない。

▷淡路市野島常盤954-2 ☎0799-82-3131 午前9時～午後5時(カフェテリア[風の詩]は午前11時～午後2時30分) 入園無料 無休 @78台 道案内/電車→JR神戸線・山陽電車明石駅から徒歩で明石港へ。ジェノバラインに乗り換え岩屋港へ。タクシーに乗り換え約16分 車→神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから南西へ約15分 ※淡路IC・岩屋港からシャトルバスも運行



緑の中で新鮮ミルクのジェラートを。

あいす工房いらっく

店から100mほど離れた山麓で愛情こめて育てるジャージー牛の搾りたてのミルクで「新鮮で豊かな風味をそのままに」つくるジェラートが人気。みるくの香り、丹波産黒大豆を使うきなこ、ブルーベリーなどフレーバーは18種。天気の良い日はテラス席で爽やかな自然を感じながら味わって。牧場のジェラート・ダブル580円。

▷朝来市和田山町白井486 ☎079-670-1766 午前10時～午後4時 水曜休 @10台 [ルーラルガーデン]から車で北へ約5分

道案内/電車→JR山陰本線・播但線和田山駅からタクシー約13分 車→北近畿豊岡自動車道山東ICから北へ約20分



酸性土のため、ほとんどのアジサイは青色に。フロレンティナーやジャスミナーなど、個性豊かなバラに出あえる。



ルーラルガーデン

Rural Garden

朝来市

山間に溶け込む
ナチュラルガーデン

もとは土木会社の社長さんが始め、縁あって土いじりが好きな夫妻が守り継いでいるすてきな庭を、春と秋に一般公開。宿根草と春の桜、初夏や秋のバラが見どころ。5月にはコレオプシスデージーとニセアカシアフリーシアの緑が爽やかに。庭でくつろいだり、花苗や園芸雑貨などのショップで買い物したり、のびのびとした時間を過ごしたい。

▷朝来市和田山町白井1161-1 ☎なし 開園/3月下旬～6月中旬、9月下旬～12月初旬の午前10時～午後5時 入園無料 水・木曜休(臨時休あり、施設インスタグラムで告知) @15台



朝来へ
春・秋限定の
お庭訪問。

山を借景にした日本庭園



広い敷地には畑やハーブガーデン、かわいらしい多肉植物コーナーも。お花が絶えないよう四季折々の植物を育てる庭を1年中公開。

▶多可町加美区多田454-27
☎0795-35-1887 見学自由 ⑤台 バス熊野部下車

白石邸

公開日 いつでも

黄色い壁の母屋を取り巻く庭を、今春日本庭園にリニューアル。四国や小豆島、地元西脇市の石でつくった趣ある石組や生け垣が見どころ。「石にも表情がある。手でふれて癒やされて」と白石さん。

酒井邸

公開日 4/1(月)～6/30(日)

シンボルツリーの大きなマボウシがお迎え。ケヤキやジュンペリーの立派な大木も。「木陰ができる大きな木と小さな花が好き。森の中のようなナチュラルな庭に」と酒井さん。

▶多可町加美区門村 ☎090-8936-9000 庭に不在の時は電話を ⑩台 バス門村下車



ハワイアンカフェ リリハ

橋本邸のご近所、のどかな田園の中に立つハワイアンカフェでひと休み。看板メニューの黒田庄和牛パティを挟んだハワイアンバーガーに加え、モチコチキン、ロコモコ、パンケーキなどハワイのロコメニューを南国ムードのテーブルで。テラス席もリゾート!

▶多可町中区天田50-1 ☎0795-32-5508 午前8時～午後5時30分 水曜休 ③30台 鍛冶屋南下車徒歩約2分

ロコモコプレート1,265円。ハワイアンバーガー1,100円は丹波市のハンバーガーの巨匠[市島製パン研究所]三澤氏が監修した本格派。いずれもプラス275円で飲み物付きに。

橋本邸

公開日 5/6(月)～26(日)

30代で日本庭園を自分好みに改修し、40代から洋風の庭づくりに励んできた橋本さん。退職を機に従来の畑をポタジェガーデンにつくり変えるなど、長くガーデンライフを楽しんでいる。

▶多可町中区岸上249 ☎0795-30-2018 見学自由 ⑩12台 バス岸上下車



左は日本庭園。さらに花が咲き誇る新感覚の菜園もある。本場イギリスに庭を見に行くなど研究熱心。苗木から育てた思い出のスタチの木も大切に。

美しい3つの庭を満喫

癒やされて

大きな木に

藤原邸

公開日 いつでも

花や木、外に出ることが好きな藤原さん。庭の小屋へレンガの道を敷き、その縁に花を植えたことから庭はどんどん広がったのだとか。「大きな木の木陰でほっとできる。牧歌的でいいでしょう」と笑顔。

▶西脇市黒田庄町福地56 見学自由 ⑩10台 日本へそ公園駅下車



ナチュラルが一番よ

60歳から20年以上業者に頼らず庭を丹精してきた享さん。家族、友人が向かい合い円満に過ごせるようにと、中央の円形花壇から庭づくりをスタートした。

在田邸

公開日 5/4(土)～19(日)

播州織工場があった土地に、和風、洋風、盆栽などの庭を在田享(すむ・写真左)さんをはじめ家族4人が力を合わせてつくる。昔の道具も大切に再利用する温かさ。地域の人もほっと憩う。

▶多可町中区東安田477 ☎0795-32-0210 見学自由 ⑦台 バス中安田下車

寺尾邸

公開日 5/5(日)～25(土)

夫婦ともものづくりが得意。間伐材を使い、ご主人が手づくりしたイスやテーブル、ブランコ、奥さまが編んだカゴがある庭は優しい雰囲気。〈風見馬〉のアーチをくぐって奥へ。

▶多可町加美区豊部140 ☎0795-35-0778 見学自由 ②台 バス豊部南口下車



かわいい小鳥もいる!

さまざまな宿根草を植えると気候に合うものが大きくなり、翌年も残っていく。「土地や気候に合った庭へと育っていきます」。

吉本邸

公開日 4/27(土)～5/6(月)、5/13(月)～24(金)

吉本さんの庭は初夏のつるバラや自然に種が落ち翌年も花を付ける宿根草が美しい欧風ガーデン。「水やりや草刈り、腐葉土の補給など1年手をかけた庭が一番美しい5月にぜひ来園を」。

▶多可町加美区西脇363 ☎0795-35-0502 記載後見学自由 ⑩10台 バス月ヶ花下車



バラと宿根草が魅了する

ガーデン部 部長さんのお庭!

「初夏は庭が緑いっぱい。世界が変わりますよ」と吉本さん。花壇や花のアーチを眺めるベンチやテーブルでほっと深呼吸。



多可 オープンガーデン Taka Open Garden 多可町

個人の庭を公開するオープンガーデンは、約100年前のイギリスでチャリティ事業として始まった。日本ではガーデニング人気が高まった1990年代から広まり、兵庫では2000年の淡路花博を機に各地で活発に取り組まれるように。今年で15年目を迎える[多可オープンガーデン]では、4月から6月にかけて多可町・西脇市の20カ所で一般家庭や施設の庭が開放される。「みんな庭好きな人の集まりで、庭仕事は生活の一部。縦に長く南北で気候の違いもある多可町で個性豊かな庭づくりに励んでいます。広い空、山、田畑を借景にしたおおらかな庭をぜひ見に来てください」と代表者の吉本優さん。庭はボランティアで開放され、基本は見学無料。個人宅を訪問するため鑑賞のマナーは大切。見学時間を守って静かに訪ねること。樹木や花に触れず、プライベートな場所に入らないこと。そして「見せてくれてありがとう」の気持ちを忘れないこと。日々手をかけ愛情を注がれたイングリッシュガーデン、日本庭園、花畑や菜園、盆栽の庭などを巡って、庭をつくる人も見る人も心温まる1日を。

パンフレットを役場、町内のまちの駅、道の駅に設置。公開中の庭はオープンガーデンの旗が自印。☎0795-32-4779(多可町観光交流協会) <https://kanko.takacho.net/garden/>も参照



道案内/電車↓R加古川線西脇市駅から神姫バスで各所へ車↓中国自動車道瀬野社ICから北へ約20～50分



大きな池の周り、石橋や土橋、飛び石を渡るのも楽しい池泉回遊式庭園。小さな滝や築山も。大楠の足元をはじめ27基の多彩な灯籠も見ものだ。

全国でも珍しい明治築のレンガづくりの洋式旧蔵舎、英国人貿易商が住んだ異人館を移築した旧ハッサム住宅など、和の庭園に絶妙に溶け込む洋風建築も見どころ。旧ハッサム住宅は年2回、初夏のツツジ、秋の紅葉の頃に内部が一般公開される。



〔相楽園〕▷神戸市中央区中山手通5-3-1 ☎078-351-5155 午前9時～午後5時(最終入園は午後4時30分) 入園料/大人300円、小・中学生150円 木曜(祝日の場合翌日)休、4月下旬～5月初旬は無休 @なし



〔相楽園 パーラー〕▷相楽園内 [THE SORAKUEN] 1F ☎078-341-1191 午前11時～午後5時 ※パーラーのみ利用は入園料不要(入館は北門から) 水曜休、臨時休あり @6台 道案内/電車→地下鉄西神・山手線県庁前駅から北へ徒歩約5分 車→阪神高速神戸線京橋出口から北西へ約7分



都会の日本庭園に見られてほっとひと休み
神戸市立相楽園
相楽園パーラー | 中央区

フンドボーと赤ワインで仕上げる特製ハヤシライス1,100円(飲み物付き)。ミックスサンド1,320円(野菜スティック付き)。イチゴの季節限定のイチゴパフェ1,200円もぜひ。



宮殿に招かれた気分で、お散歩ランチ
神戸市立須磨離宮公園
ガーデンパタジェ 須磨離宮 | 須磨区

かつて皇室の別荘・旧武庫離宮があり、左右対称の欧風噴水庭園を一望できる〔須磨離宮公園〕。園内に約300品種4,000株のバラが咲き誇り、特にその歴史にちなんだ〔王侯貴族のバラ園〕では、ダイアナ・プリンセス・オブ・ウェールズ、プリンセス・アイコといった国内外の皇室や貴人から名付けられたバラが見どころ。園の高台に立つ宮殿のようなレストハウスは、六甲山の間伐材を使った空間美と、発酵こうじを主役にしたナチュラルな料理を楽しむレストランとなっている。窓辺のテーブルは特等席。メインフォールの滝や小噴水の向こう、ロマンチックな庭園と紺碧の須磨浦の眺めに時間を忘れそうだ。



庭じまんの
テーブルへ。

窓辺やテラス席からすばらしい日本庭園や欧風庭園を眺められるランチやスイーツのお店へ。兵庫を代表する本格的な庭園の中の食事処も。食後の庭散策も楽しみに出かけよう。

レストラン〔ガーデンパタジェ須磨離宮〕は開放感あふれる吹き抜け空間。内装の間伐材や植物が庭園に呼応し、ナチュラルで心地良い。一面ガラス張りの窓越しに、天高く吹き上がり、踊り、流れる水が清涼感。庭園の絶景を彩る。



店独自の発酵こうじでやわらかく煮込んだスペアリブは2本1,045円、ランチプレートは1,738円から。デザートにはボコボコかわいいバブルワッフルを。6月中旬ごろまでの季節限定、ベリーベリーベリー1,540円。

〔須磨離宮公園〕▷神戸市須磨区東須磨1-1 ☎078-732-6688 午前9時～午後5時(最終入園は午後4時30分) 入園料/大人400円、小・中学生200円 木曜休(祝日の場合開園) @あり

〔ガーデンパタジェ須磨離宮〕▷須磨離宮公園内レストハウス ☎078-736-1616 ランチ午前11時～午後3時、カフェ午後2時～午後4時15分(いずれもラストオーダー) 木曜休(祝日の場合営業) 道案内/電車→山陽電車月見山駅から北西へ徒歩約10分 車→第二神明道路須磨IC、または阪神高速神戸線月見山出口からすぐ(公園駐車場へ)



初夏のみどころ

春のバラが見ごろとなる5/3(金・祝)～6/2(日)は〈春のバラ観覧会〉が楽しみ。園内のバラガイドや花の売店など多彩な催しがある。



初夏のみどころ

神戸の街を借景に色鮮やかな緑が光輝く季節。4月下旬から5月上旬は園内の赤、ピンク、白色のツツジが満開に。そそる歩きが楽しい。



A5ランク以上の肉をセラミック窯で焼き上げた黒毛和牛上モモ肉焼ステーキ(200g)5,100円。敷地内で育てた野菜やハーブでつくる副菜、ビーツのスープとライス付き。

ランチは他にハンバーグステーキ2,000円や焼焼きピザも。「お客さんに喜んでいただくことはもちろんですが、私自身も庭を眺めて幸せになれるんです」と衣本さん。春季の午後1時30分以降はカフェ利用も可能。セラミック窯で4〜5時間かけてじっくり火を入れるこだわりのスフレチーズケーキ700円をブレンドコーヒー550円と一緒に。



10年以上かけて手づくり! 彩り豊かな庭とヘルシーランチ ガーデンレストラン 陶酔房 - とうすいほう - 上郡町

周囲を自然豊かな山に囲まれた一軒家レストランの自慢は、地元・山上産黒毛和牛と無農薬栽培野菜を主役にした料理と、季節の花で埋め尽くされた約1,000坪の庭。「もとは竹林が繁る荒れた土地でしたが、13年かけて開墾、デザインしようやく完成しました」と店主の衣本妃凜(きぬもとひりん)さん。春は芝桜やチューリップにパンジー、初夏はサルビアやマリーゴールド、カラフルな花々で彩られる。庭で食事を楽しむことができるので、青空の下、桃源郷のような空間でおなかも心も満たされて。

▷赤穂郡上郡町八保甲569-21
☎0791-56-6191
午前11時30分〜午後2時30分
※予約が望ましい 月・火・水・木曜休 @35台 道案内/電車
→JR山陽本線上郡駅からタクシー
約5分 車→山陽自動車道龍野ICから西へ約40分



初夏のみどころ

新緑が輝く美しい山を背景に、ピンク色のツツジが満開を迎える。パーベナやペチュニア、センニチコウなど可憐な花も見頃になる。



[活水軒]から続く渡り廊下。中央の曲線は庭園のシンボルで歩く太鼓に似た音が。初夏は両側の青モミジにも注目! お城の西の丸が見える[築山池泉の庭]は紅葉や黒松が美しい。[活水軒]では、冷そば・穴子丼セット1,480円のほかに、御膳や夏季のかき氷など多彩なメニューを用意。

姫路城を借景に、新緑に癒やされる食事を 姫路城西御屋敷跡庭園 好古園 活水軒 こうこえん / かつすいけん | 姫路市

世界遺産の姫路城の隣にある日本庭園で市制100周年を記念し1992(平成4)年に開園。「本多忠政時代の西御屋敷跡などの地割りを生かした園内は[花の庭][夏木の庭]など9つの庭で構成。それぞれ趣が異なります」と副園長の八木章徳(やぎあきのり)さん。約1万坪の園内は歩を進めるたびに四季の風情と美意識に心洗われる。池泉回遊式庭園[御屋敷の庭]を望むレストラン[活水軒]では新緑の輝きや水の流れを眺め、名物穴子丼やそばなど食事をゆったりと。

▷姫路市本町68 ☎079-289-4120
午前9時〜午後5時(6/1〜8/31は午後6時まで。最終入園は各30分前) 入園料/大人310円、小・中学生150円(姫路城との共通券あり) 無休 @あり(有料)
[活水軒] ☎079-289-4131 食事午前11時〜午後3時、喫茶午前10時〜午後3時30分(いずれもラストオーダー) 無休 道案内/電車→JR神戸線・山陽姫路駅から神姫バス、姫路城・大手前下車徒歩約5分



庭園内にある[双樹庵]は本格的な数寄屋造りの茶室。建物はもちろん、すべての茶室が姫路城天守閣に向かうよう設計されている。四季の庭や露地を眺めながら、ひと休みしたい。抹茶とお菓子500円。



初夏のみどころ

5月は[御屋敷の庭][流れの庭]などで赤や紫のツツジが艶やか。江戸時代の園芸植物が育つ[苗の庭]ではヤマボウシやシランも。



枝垂れモミジがシンボルでゆるやかに水が流れる[流れの平庭]。庭を仕切る[松明垣][沼津垣]など意匠の異なる竹垣を生む職人技も見事!「季節が進むごとに庭を彩る花や木々の様子も変わります。新緑の時期は散策していると幸せな気持ちに」と八木さん。



初夏のみどころ

芝生が青々と繁り、館内から眺める海の青と庭の緑のコントラストがすばらしい。庭から建物と青空を見上げる景色もおすすめ。



敷地内は、レストランを利用すれば自由に散策可。水平線を見渡すガラス張りのチャペル、かつて茶室として使われたかやぶき屋根の東屋などもありモダンとクラシックが調和する。

英国紳士が愛した海と庭、 極上ローストビーフを堪能 ジェームス邸 | 垂水区

瀬戸内海の水平線を見渡す風光明媚な山麓に、英国人貿易商アーネスト・W・ジェームスの自宅として建てられた築90年の洋館。オレンジ色の瓦屋根やアーチ状の玄関など、美しい建物の意匠はそのままだ。現在は結婚式場およびレストランにリニューアル。「重厚感のある歴史的建造物と、地元食材を使うフレンチスタイルの料理で、特別な1日をゆったりと過ごしてください」とソムリエの石原学さんとシェフの細川洋一さん。ランチの後は、端正に整えられた広大な庭園や建物の散策を楽しんで。

▶神戸市垂水区塩屋町6-28-1
☎078-752-2266
午前11時30分～午後3時、午後5時～午後9時(ラストオーダーは各1時間前) 水曜休 ②25台
道案内/電車→山陽電車滝の茶屋駅 徒歩約7分
車→第二神明道路名谷ICから南へ約10分



ランチメニュー(B)5,800円は、スペシャルティ(国産牛サーロインのローストビーフ)に前菜2種や旬のデザート、食後のドリンクなどが付く人気のコース。クラシカルな空間で味わうと格別。



円筒状の塔は展望台として開放。贅を尽くした調度品が美しいラウンジや、地下のバーラウンジなど館内には見どころがたくさん。



バラの香りに包まれた館で、 アリスの世界に浸るランチを ガーデンカフェレストラン 癒しの森のアリス | 西宮市

北六甲の森にある一軒家レストランは、まるでファンタジーの世界に迷い込んだかのような。洋館を取り囲むようにイングリッシュガーデンが広がり、美しい花々や豊かな緑に心が弾む。「春は山桜から始まり、バラ、アジサイと季節の移り変わりが楽しめます。テラス席に座って鳥の声や近くを流れる滝の水音に耳を傾けながら豊かな時間を味わってもらえたら」と店主の八濱雅彦さん。インテリアや料理は奥さんの孝美さんが愛する『不思議の国のアリス』の世界観に彩られる。アリスになりきって、非日常のひとときを満喫したい。

▶西宮市山口町船坂1626
☎078-904-2603

ランチ午前11時30分～午後1時30分、カフェ午後2時～午後4時、ディナー午後6時～午後9時30分(いずれもラストオーダー、ディナーは要予約のみ営業) 火曜・第3水曜休(祝日の場合営業)・ディナーは不定休 ①12台 道案内/電車→阪急神戸線夙川駅からさくらやまなみバス、舟坂橋下車徒歩約8分 車→阪神高速北神戸線西宮山口南ICから南東へ約10分



メインが5種類から選べるAliceランチコース。おすすめはハンプティダンブティのような半熟卵がのったハンバーグ。とろりとトロける黄身をソースと絡めて味わって、3,000円。

初夏のみどころ

5～7月にかけて100種類以上のバラが咲き誇る風景は圧巻の美しさ。繊細な色使いやバラのアーチなど魅せる演出にも注目したい。



ケーキは息子の達哉さんが手づくりする愛らしいデコレーションが人気。ケーキ2種とドリンクがセットで1,650円。店内や庭の至るところにアリスの物語が見え隠れ!



お店は多くのファンに愛されながら昨年20周年を迎えた。「これまで以上に憩いのひとときを提供できれば」と、物語に登場する〈マッドハッター〉のような八濱さんと笑顔がすてきな孝美さん夫妻。

